

新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
新 横 浜 出 張 所 発 行
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3
2011年12月12日【第21号】

鶴見川遊水地内のPCB等を含む異物混入土の無害化処理施設を自治体職員が視察



この中の PCB 濃度の濃い部分を、今回無害化処理します。

鶴見川多目的遊水地のうち鶴見川および鳥山川合流部付近には、ポリ塩化ビフェニル等の有害物質(以下、「PCB等」という。)および異物(木材、プラスチック、がれき類等)が混在している土砂(以下、「異物混入土」という。)が、一時保管されています。この一時保管されているものの内、PCB等の濃度が比較的高いものについて、「土壌無害化処理」を行います。

無害化処理するための施設は、12月末頃完成する予定で工事が進められていますが、12月上旬から施設の上部にテントをかぶせてしまいます。

自治体の職員等が、この施設を視察したいということで、11月30日に来訪されました。

当日は、現場詰所の会議室で、PCBを含む異物混入土を処理することとなった経緯や、どういう手順で処理をするのかなど工事を請け負っている鴻池組よりパワーポイントなどを使って詳しく説明しました。その後、PCB等を処理する施設の見学を行い、色々な質問も受けました。

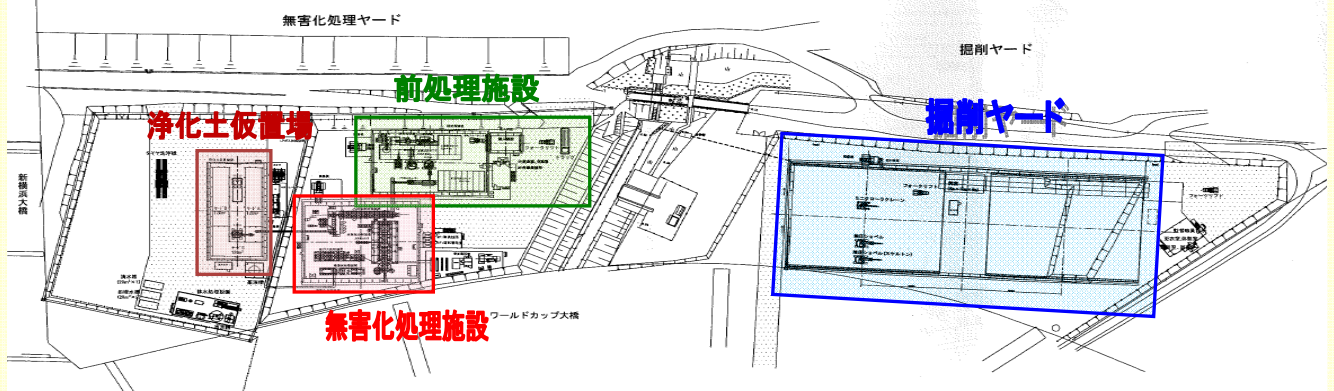


会議室で説明を受ける職員



無害化処理施設を見学する職員

12月上旬から無害化処理施設をテントで覆う工事を行っています



近隣の中学校の生徒が鶴見川流域センターで職業体験を行いました



職業体験で水槽の掃除



水槽内の砂利の掃除は、大変だ～

横浜市立城郷中学校の生徒3名が、12月7日～8日にかけて鶴見川流域センターで職業体験を行いました。

1日目は、出張所の重要な任務の一つである、堤防点検を行いました。遊水地の周囲堤、越流堤を徒歩で巡視し、堤防にひび割れや陥没などの異常がないか確認しました。

2日目は、流域センター周辺と施設の美化作業を行いました。平日の流域センターは、幼児とお母さんの来館がとても多く、来館者の皆さんに気持ちよく利用して頂くために、建物周辺のゴミ拾いを行い、その後雑巾でライブラリーや会議のテーブルをゴシゴシと清掃しました。

生徒は、自分たちが磨き上げた流域センターで楽しく学び、遊ぶ小さな子ども達を見ながら、とても誇らしげな表情をしていました。

鶴見川遊水地内の公園にドッグラン工事が始まります

横浜市は、港北区小机にある『新横浜公園』内の一部にドッグランを造る工事を行います。



ここにドッグランと遊具広場が

私たちが自由に散歩出来るの？



新横浜公園内にドッグラン（約3,100m²）と遊具広場（約2,100m²）を整備します。

芝生のドッグランは、犬用のトイレや水場も整備予定です。

遊具広場は、健康遊具、複合遊具、幼児用遊具を整備予定です。

あとがき

3.11の東北地方太平洋沖大地震で、当出張所で管理している区間では、堤防の損傷など大きな被害はありませんでしたが、当出張所の外壁や堤防に設置された階段のひび等が発生しました。大きな余震も観測されなくなったため、修繕を進めて行く予定です。

台風15号による強風で20本程度の木が倒れました。早濑川など護岸上やコンクリートの平場上に土が積もった部分の木も倒れました。早濑川などでは、洪水時に急激に水位上昇等が起こることから、水位上昇を助長する樹木の計画的な伐採を行って行く予定です。

また、鶴見川では、堤防部分に擁壁の箇所があり、防護が必要な箇所について計画的に防護柵を設置して行く予定です。

『新横浜出張所だより』編集長（上林喜美夫）

鶴見川流域センターに11月末までに約2.3万人が来館

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設です。

4月以降の合計来館者は22,604人で、昨年度実績の5割増しの来館者となっています。

11月は、2,400人余の方が来館していますが、この中には小学生やボランティア団体の方などの参加もありました。

今月も色々な催し物が行われていますので、是非来館して見てください。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

（鶴見川流域センター直通）